

活コンサルタントのプチレター

課題達成 QC の進め方

先日、私のお世話になっている会社さんで QC 活動の発表会がありました。

実質的には、4ヶ月くらいの短期間でしたが
どのグループも(1つのグループを除いて(笑))
大きな効果と学びを得ていただいてとても嬉しく思いました。

今回は、管理部門の学びを以下ご紹介します。

珍しい? 課題達成型 QC です。

課題達成型 QC って?

.....

一般に QC ストーリーによる問題解決は、現状の悪さ(たとえばミスや不良など)
を要因分析して対策を実施するものですが、
課題達成は「新製品を別の分野に販売する」「未知の新規マニュアルを作成する」など
これまでに経験のない課題を達成するといった活動です。

.....

さて、以下の事例には、
今までの QC 活動には、あまり無かった2つのポイントがあります。

.....

テーマは、目標管理の課題で、一番ネックになっていること
「金型別収支原価表の作成」を選びました。

皆が手いっぱい仕事のなかで、新しい課題を達成するためには
余裕時間をつくらないといけません。そこで、まず、ムダ取りで時間をつくりました。

「手書きをやめる」「迷う」「分かりにくい」「外出」を減らすなど。
これらの小改善の積み重ねは、速いサイクルで効果が見えて達成感あります。

そして、
方法・帳票、システム、そして人員の視点から
やるべきことをリストアップして行動計画をつくりました。

・方法・帳票

⇒ 日報整備・情報収集、雛型作成

・システム

⇒ アクセスインストール、PC 購入、経理システム VER UP

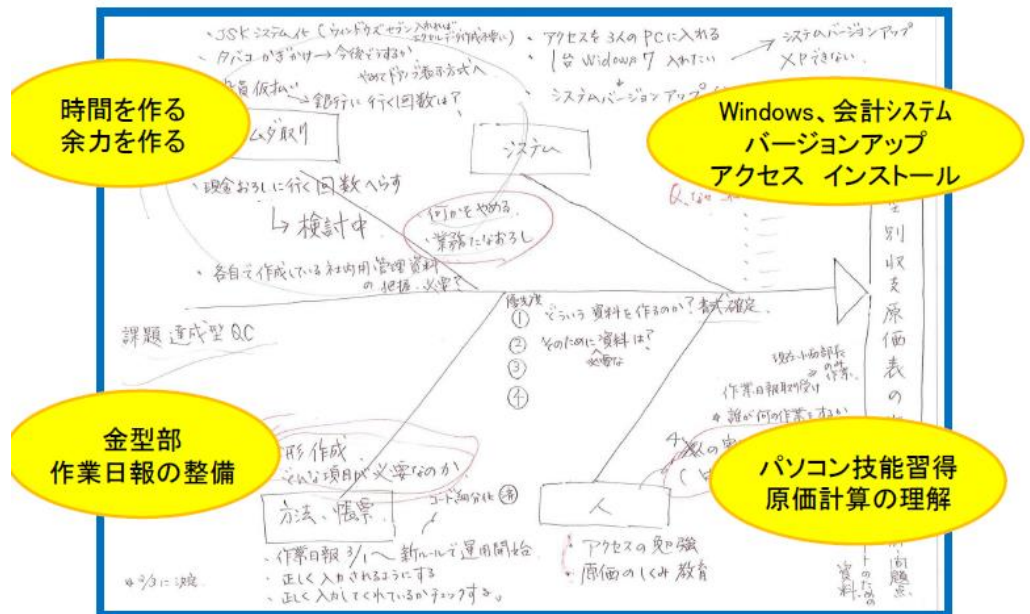
・人員

⇒ 原価教育、経理システム操作習得

それぞれ担当と行動計画をたてて、役割を担いました。

おかげで、原価表の雛形ができたので、これから、必要な抽出、集計のシステム化など運用しながら精度を上げたいと思います。

現状分析



いかがでしょうか？

QCの教科書を見ると、課題達成型QCという「成功シナリオ」やら、「最適策の追求」やら書いてあり難しそうに思いますが健全なビジネス感覚を持っている人たちにとっては決して難しくない。あたりまえのことをやっていますよね。

皆さん。難しく考えすぎだと思います。

そして、

以上の事例に今までのQC活動には無かった2つのポイントがあるのがわかりでしょうか？

ひとつは、

・小カイゼンを活動に取り入れていること

そして、もうひとつは、

・管理職の抱えている目標管理のテーマをQC活動に落とし込んでいること

私は、この2つをQC活動に取り入れることは、とても大切なことだと思います。